

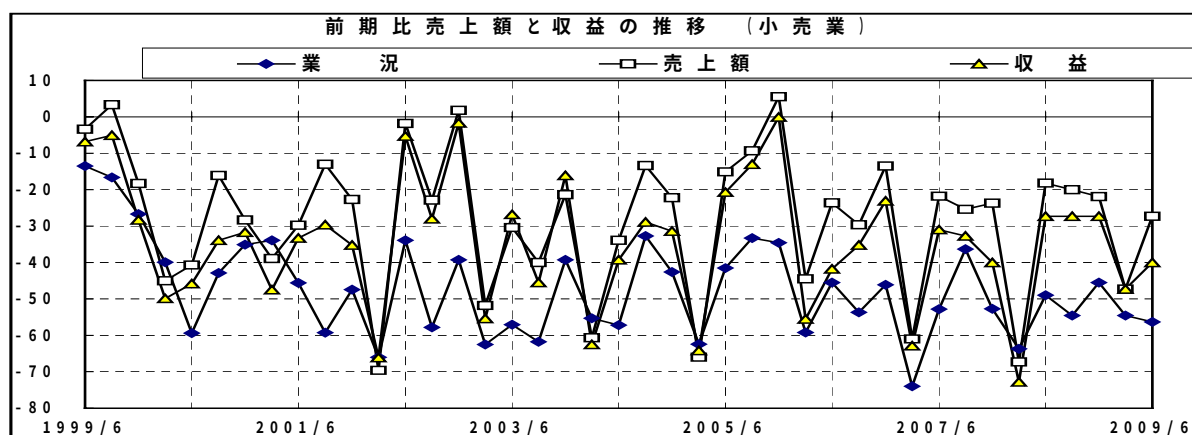
小 売 業 55 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
業 況	-45.5	-54.6	-56.3	-47.3
売上額	-21.9	-47.3	-27.3	-14.6
収益	-27.3	-47.3	-40.0	-23.7

今期の業況判断DI値は△56.3と、前期比小幅悪化しマイナス値が1.7ポイント拡大、前年同期(△49.0)との比較でも悪化を示した。地区別にみると、浦河、えりも、広尾地区が改善し、静内地区が横ばい、三石、様似地区で悪化している。

売上額、収益判断DI値は、売上額が△27.3、収益が△40.0と、前期比それぞれマイナス値が縮小し20.0、7.3ポイント上昇した。

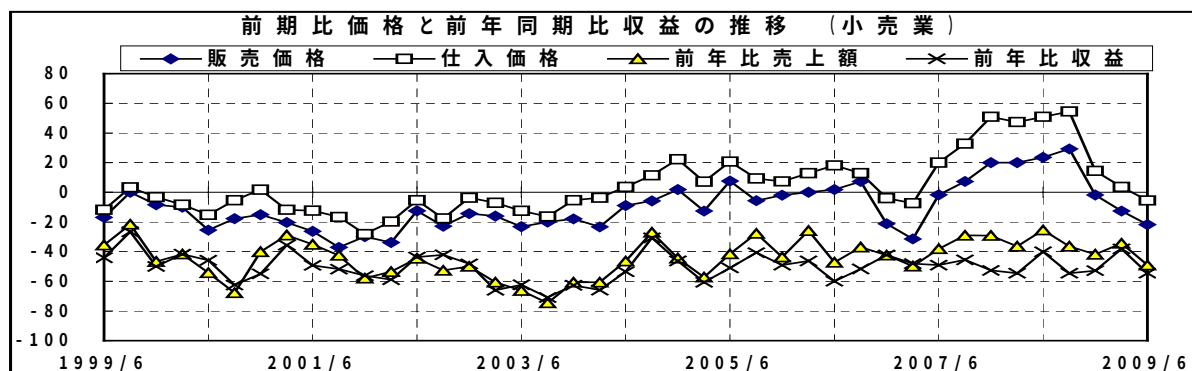


□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
販売価格	-1.8	-12.7	-21.8	-20.0
仕入価格	14.5	3.6	-5.5	-3.7

販売価格判断DI値(△21.8)は、前期比マイナス値が拡大し9.1ポイント低下、仕入価格判断DI値(△5.5)は、前期比プラスからマイナス値に転じ9.1ポイント低下し、それぞれ価格低下基調を強めている。業種別にみると、衣料品、食料品が販売、仕入価格ともに低下、家電品

が販売、仕入価格ともに上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
残業時間	-10.9	-16.4	-10.9	-11.0
人手状況	3.6	3.6	7.3	0.0

残業時間判断DI値は△10.9と、残業時間が減少したとする企業割合が減り、前期比5.5ポイント上昇した。

人手過不足判断DI値は7.3と、前期比プラス値が拡大し3.7ポイント上昇、人手過剰感を強めている。

□ 設備投資の動き

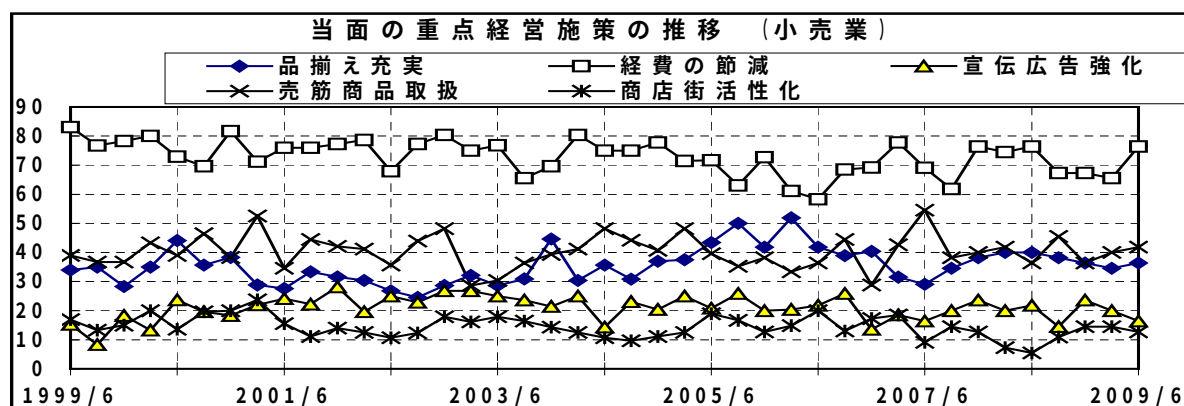
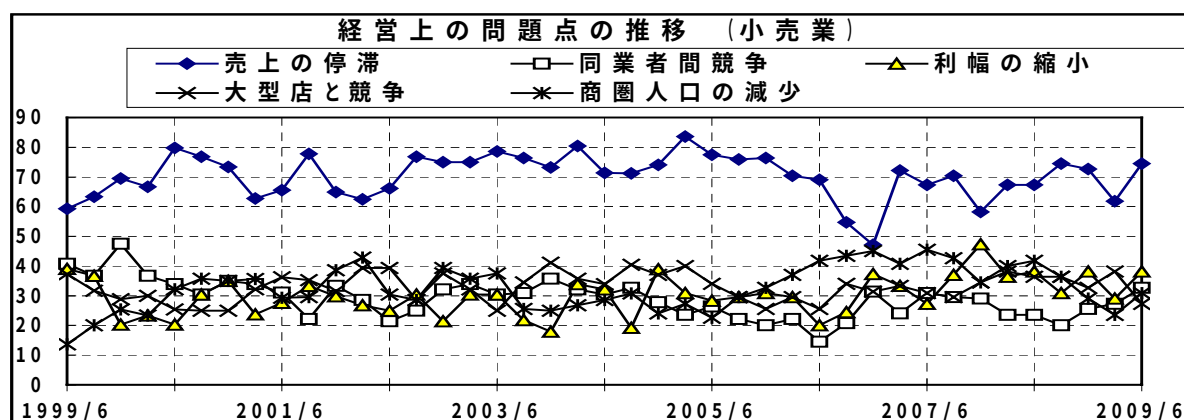
設備投資の充足感を示すD I 値は $\Delta 7.2$ と、前期($\Delta 9.0$)からマイナス値が縮小し1.8ポイント上昇、不足感が弱まる一方、適正と回答した企業も81.8%と、前期(80.0%)から1.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は9.1%と、前期(12.7%)比3.6ポイント低下し、件数で前期の7社に対し5社の実施となった。また、来期予定では当期比1社増の6社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ74.5%、次いで「利幅の縮小」38.2%、「同業者間との競争」32.7%、「商圏人口の減少」30.9%の順に続き、前期との比較では上記の回答割合がそれぞれ上昇し特に「売上の停滞」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、衣料品が「商圏人口の減少」、食料品が「売上の停滞」、家電品が「利幅の縮小」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ76.4%、次いで「売れ筋商品取扱」41.8%、「品揃えの充実」36.4%、「宣伝広告の強化」16.4%の順となっている。業種別にみると、衣料品、食料品、家電品が「経費の節減」をトップに挙げている。



□ 来期の見通し

来期(平成21年7~9月期)の予想業況判断D I 値は $\Delta 47.3$ と、今期($\Delta 56.3$)実績比9.0ポイントの改善見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断D I 値は、売上額が $\Delta 14.6$ (今期 $\Delta 27.3$)、収益が $\Delta 23.7$ (今期 $\Delta 40.0$)と、それぞれマイナス値が縮小し今期実績比12.7、16.3ポイントの上昇見通しとなっている。

予想販売、予想仕入価格判断D I 値は、販売価格が $\Delta 20.0$ (今期 $\Delta 21.8$)、仕入価格が $\Delta 3.7$ (今期 $\Delta 5.5$)と、それぞれマイナス値が縮小し今期実績比1.8、1.8ポイント上昇、価格低下基調が弱まる見通しとなっている。

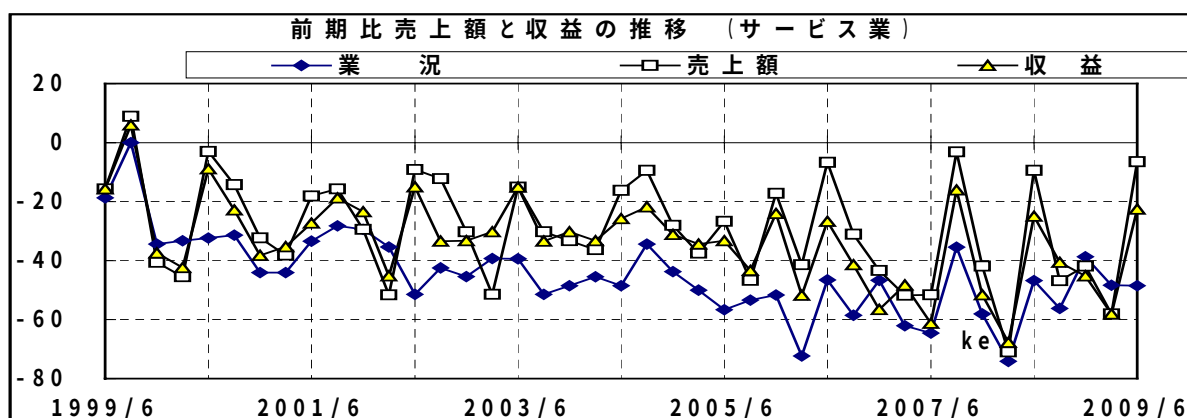
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
業 況	-38.7	-48.4	-48.5	-61.4
売上額	-41.9	-58.1	-6.5	-48.4
収 益	-45.2	-58.1	-22.6	-48.4

今期の業況判断DI値は△48.5 と、前期比極僅か悪化しマイナス値が0.1ポイント拡大、前年同期(△46.8)との比較でも悪化を示した。地区別にみると、静内、えりも地区が改善し、様似地区が横ばい、浦河、三石、広尾地区で悪化している。

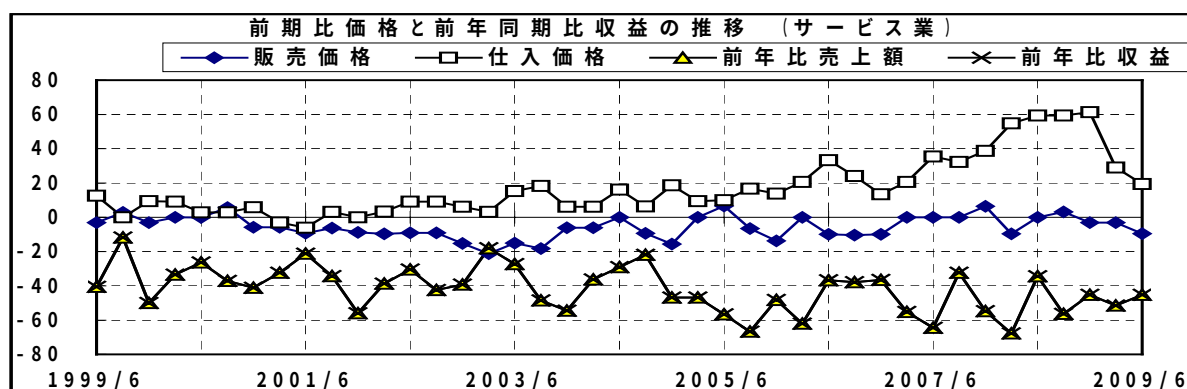
売上額、収益判断DI値は、売上額が△6.5、収益が△22.6 と、前期比それぞれマイナス値が縮小し 51.6、35.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
料金価格	-3.2	-3.2	-9.6	-25.8
材料価格	61.3	29.0	19.3	9.7

料金価格判断DI値(△9.6)は、前期比マイナス値が拡大し 6.4 ポイント低下、価格低下基調を強めている。一方、材料価格判断DI値(19.3)は、前期比プラス値が縮小し 9.7 ポイント低下、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、旅館が料金、材料価格ともに横ばい、洗濯・理美容、自動車整備が料金、材料価格ともに低下している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期見通し
残業時間	-6.5	-19.4	-16.1	-16.2
人手状況	-6.5	9.6	9.7	6.4

残業時間判断DI値は△16.1 と、残業時間が減少したとする企業割合が減り、前期比 3.3 ポイント上昇した。

人手過不足判断DI値は 9.7 と、前期からプラス値が 0.1 ポイント上昇、人手過剰感を極僅か強めている。

□ 設備投資の動き

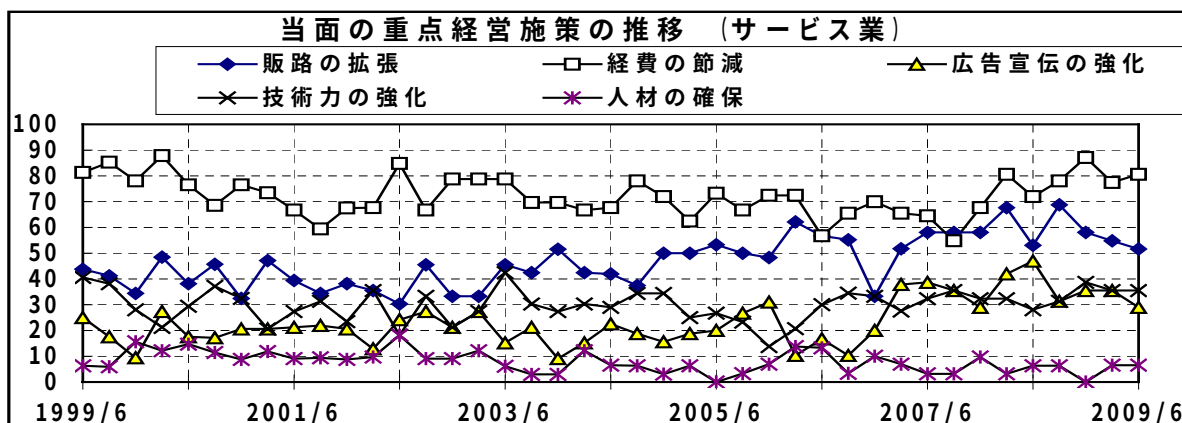
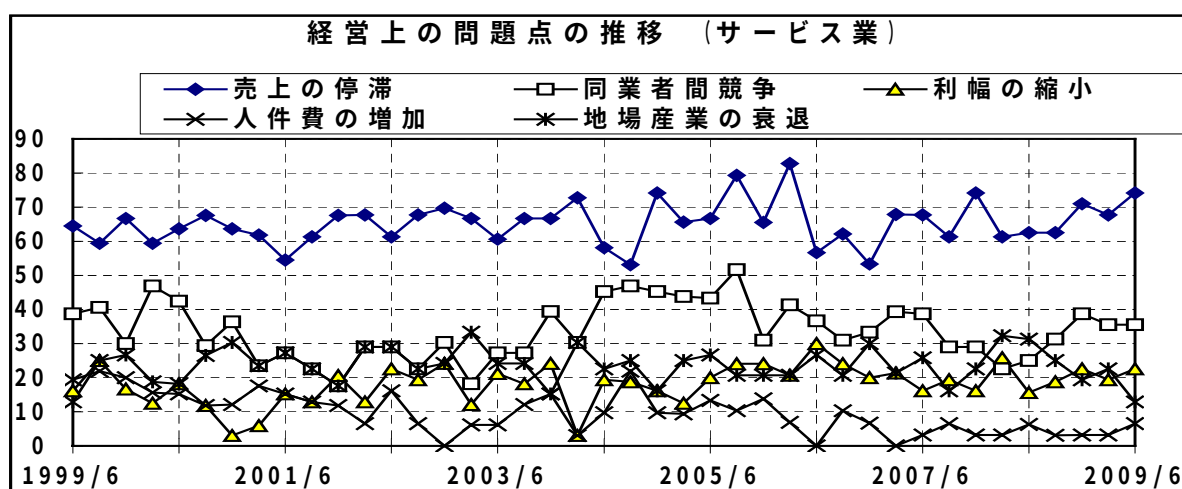
設備投資の充足感を示すD I 値は△16.1 と、前期（△22.6）からマイナス値が縮小し 6.5 ポイント上昇、不足感が弱まる一方、適正と回答した企業は 64.5%と、前期（71.0%）から 6.5 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 12.9%と、前期（9.7%）比 3.2 ポイント上昇し、件数で前期の 3 社に対し 4 社の実施となった。また、来期予定では当期比横ばいの 4 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 74.2%、次いで「商圈人口の減少」45.2%、「同業者間との競合」35.5%、「取引先の減少」25.8%の順に続き、前期との比較では「売上の停滞」、「取引先の減少」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、旅館が「売上の停滞」、「商圈人口の減少」、洗濯・理美容、自動車整備が「売上の停滞」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 80.6%、次いで「販路を広げる」51.6%、「技術力を強化する」35.5%、「宣伝広告の強化」29.0%の順となっている。業種別にみると、旅館、洗濯・理美容、自動車整備が「経費の節減」をトップに挙げている。



□ 来期の見通し

来期（平成 21 年 7～9 月期）の予想業況判断D I 値は△61.4 と、今期（△48.5）実績比 12.9 ポイントの悪化見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断D I 値は、売上額が△48.4(今期△6.5)、収益が△48.4(今期△22.6)と、それぞれマイナス値が拡大し今期実績比 41.9、25.8 ポイントの低下見通しとなっている。

予想料金、予想材料価格判断D I 値は、料金価格が△25.8(今期△9.6)と、マイナス値が拡大し今期実績比 16.2 ポイント低下、価格低下基調が強まる一方、材料価格は 9.7(今期 19.3)と、プラス値が縮小し今期実績比 9.6 ポイント低下、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。